



県内の交通事故発生状況

《令和6年7月末現在の人身事故》

	件数	死者	傷者
本年	1463	12	1780
前年	1510	26	1825
増減	-47	-14	-45

〈高齢者の事故〉

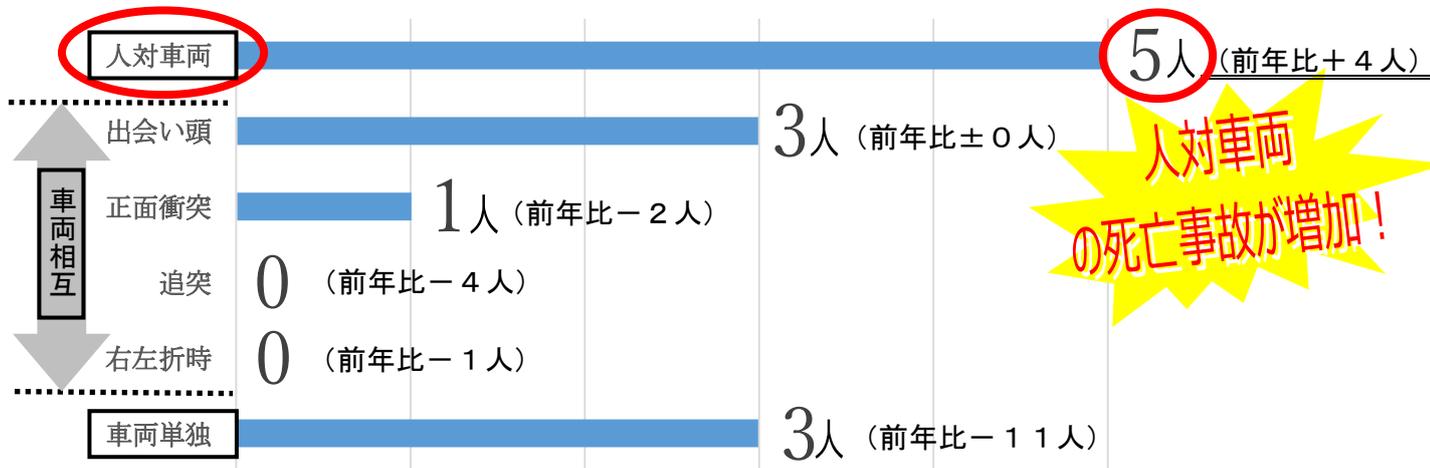
※高齢者…65歳以上をいう

	件数	死者	傷者
本年	520	8	285
前年	481	8	233
増減	+39	±0	+52



交通事故は前年に比べて発生件数、死者数、傷者数ともに減少しました。しかし、高齢者の事故を見てみると、死者数の増減はありませんが、発生件数、傷者数は増加しています。

◆ 令和6年7月末現在の事故類型別交通死亡事故発生状況 ◆



- 人対車両（横断中等）の交通死亡事故が増加しています。
- 車両単独は、前年比-11人と大幅に減少しています。



本年8月上旬に、高齢者の交通死亡事故が多発！

令和6年8月5日（月）から8月11日（日）までの間、

「高齢者事故多発警報」が発令されました。

交通事故はいつ発生するか分かりません。いつでも、どこでも、安全確認を忘れずに！

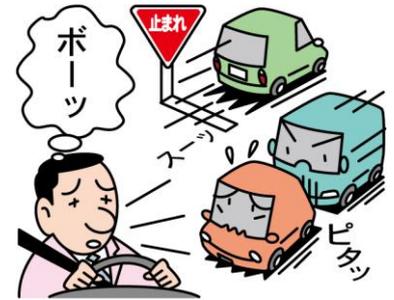
残暑期間の交通事故防止



運転前に体調確認を忘れずに！

夏は暑さで体調を崩しがちです。疲れがたまって体調が優れない時は、運転を控えましょう。

無理に運転を続けると、判断力が鈍くなって信号や標識の見落としや居眠り運転につながる可能性があります。



燃料・水分はあらかじめ準備！

渋滞や事故により、予定していた場所で給油や休憩ができないおそれがあります。

燃料は出発前に給油し、飲み物などの水分はあらかじめ用意しておきましょう。



スピードは控えめに！

長距離運転では、早く目的地に着きたいといった理由からスピードを出しがちです。

スピードが上がるにしたがい、危険を見落とす可能性が高まります。スピードは控えめに運転しましょう。



運転に集中して防衛運転を実践！

運転中は運転に集中して周囲の危険を予測することが大切です。速度を抑えて心にゆとりある運転を心がけましょう。

～運転中に疲れを感じたら 休憩をとりましょう～



夏は、連日の猛暑などで運転時の注意力が落ちて、それにより事故を誘発することがあります。こまめに休憩をとるようにしましょう。

疲れや眠気を感じたら、無理をせずに、早めに道の駅やサービスエリアなどに寄って、車から降りて気分転換をしたり、仮眠をとるようにしましょう。